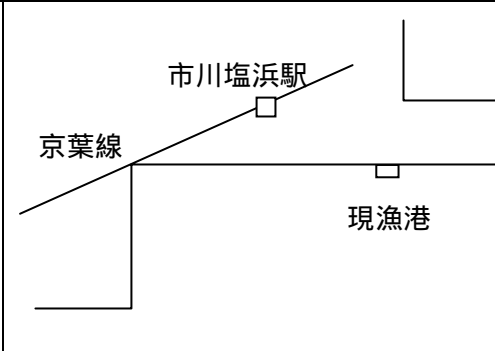
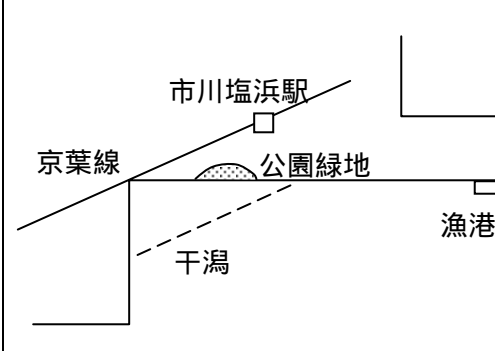
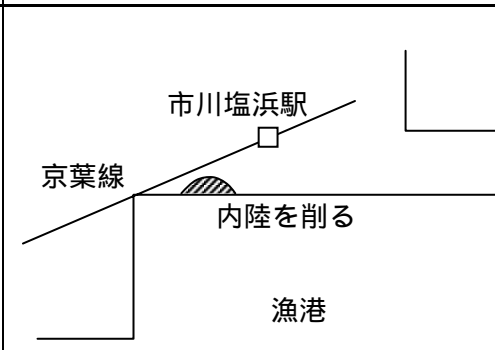
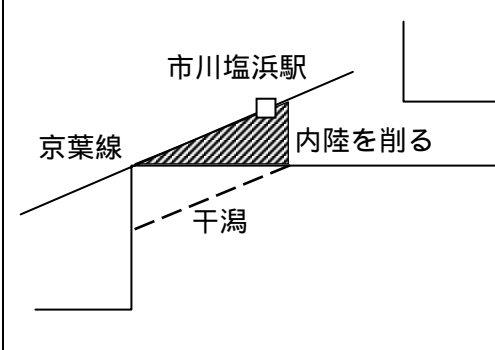
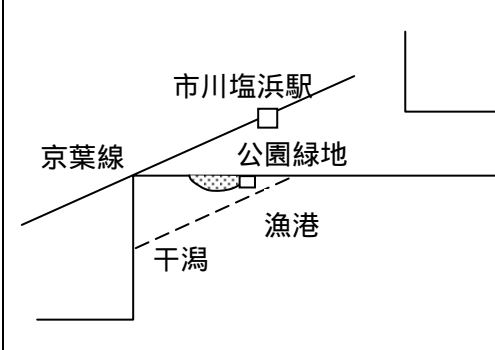
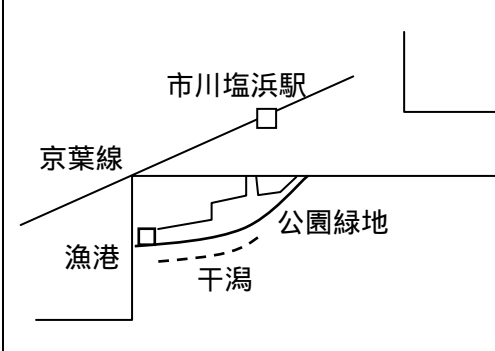


海岸線の位置の比較検討（案）

海岸線位置	干 潟	イメージ図	長 所・短 所
1.現状のまま	現状のまま		漁場環境及び自然環境は、現状のままとなる。（停滞域の解消等） 市民が海に親しめる空間の確保は難しい。 恒久的な漁港及び漁業施設の整備は難しい。 護岸の恒久的整備が行われた場合（高潮、高波対策としての構造、機能） 駅周辺の再整備は、海と連携したものとなりにくい。 一方、防潮堤の背後に、一部、遊歩道が確保できる。
	猫実川河口部付近に造成		干潟の造成により漁場環境及び自然環境の改善が期待される。ただし、干潟造成の方法によっては、環境への何らかの影響も懸念される。 干潟の出現により、市民が海に親しめる空間が形成される。 市民が利用する干潟と公園を一体的に整備することができる。 恒久的な漁港及び漁業施設が確保できる。 駅周辺の再整備は、海との連携を意識したまちづくりが期待できる。（水質改善など近郊緑地の再整備が期待できる。）
2.内陸を削る	現状のまま		海域の漁場環境及び自然環境の改善にはならない。 近郊緑地と海の距離が縮まる。 陸域を海に戻すことについて、地元の企業の理解を得ることが困難である。 市民が海に親しめる空間の確保は難しい。 水質改善など近郊緑地の再整備が期待できる。 防潮堤の位置、構造の確定は難しい。 恒久的な漁港及び漁業施設の整備は難しい。
	猫実川河口部付近に造成		干潟の造成により漁場環境及び自然環境の改善が期待される。ただし、干潟造成の方法によっては、環境への何らかの影響も懸念される。 近郊緑地と海の距離が縮まり、水質改善など近郊緑地の再整備が、期待できる。 陸域を海に戻すことについて、土地所有者である企業の理解を得ることが困難である。 駅前の再整備ができないため、人の利用は困難である。 内陸を高潮・高波から守る対策が必要である。 恒久的な漁港及び漁業施設の整備は難しい。
3.海にせり出す	猫実川河口部付近に造成		干潟の造成により漁場環境及び自然環境の改善が期待される。ただし、干潟造成や陸域のせり出しの方法によっては、環境への何らかの影響も懸念される。 干潟の出現により、市民が海に親しめる空間が形成される。 市民が利用する干潟と公園を一体的に整備することができる。 陸域が一部せり出すことで、環境への影響が懸念される。 駅周辺の再整備は、海との連携を意識したまちづくりが期待できる。（水質改善など近郊緑地の再整備が期待できる。） 恒久的な漁港及び漁業施設が確保できるが、新たな航路（漕）の検討が必要となる。
《参考》 市川二期埋立 計画見直し案 (90ha)	埋立地先に造成		埋立により、環境への影響が懸念される。 干潟の造成により漁場環境及び自然環境の改善が期待される。ただし、干潟造成の方法によっては、環境への何らかの影響も懸念される。 干潟の出現により、市民が海に親しめる空間が形成される。 市民が利用する干潟と公園を一体的に整備することができる。 駅周辺の再整備は、海との連携を意識したまちづくりが期待できる。（水質改善など近郊緑地の再整備が期待できる。） 恒久的な漁港及び漁業施設が確保できるが、新たな航路（漕）の検討が必要となる。 処理場が計画されたことで、石垣場・東浜地区の適正な土地利用やまちづくりが促進される。